

みやぎ復興エネルギーパークとは

平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、最大震度7の大きな地震とそれに続く巨大な津波に襲われました。特に宮城県は、震源地に最も近く、多くの尊い命が奪われたほか、沿岸の多くのまちが破壊されました。

震災直後は、多くの地域で長時間停電となり、またガスや灯油、ガソリンなどエネルギー源も手に入りにくく、さらには、原子力発電所の事故により、停電解消後も、電気に十分な余裕がない状況となりました。

一方で、近年、異常気象による大規模な災害が増えているように感じられますが、この原因として、化石燃料起源の二酸化炭素などの温室効果ガスによる地球温暖化が指摘されています。

また、宮城県内の津波被災地は、その多くが、典型的な少子・高齢化、人口減少地域です。

震災を契機に、こうした地域においても、環境に配慮した自立分散型エネルギーを導入し、いわゆる「エコタウン」(スマートシティ)を形成しようとする取組が、数多くのボランティアの皆さんや企業の皆さんのほか、県外の自治体からも、多大なるご支援をいただきながら、進められています。

「みやぎ復興エネルギーパーク」とは、このたびの震災からの復興を進める中で、自立分散型エネルギーを導入した主な事例などをとりあげ、県全域をエネルギーパークと見立てて、これを紹介するものです。



出典：石巻市HP「震災写真(雄勝町)」



(施設名：奥松島「絆」ソーラーパーク)

本誌に掲載する施設は、見学や視察が可能なものもありますので、観光を兼ねて、各地での取組や、復興の状況をご覧いただければ幸いです。

なお、本書では、公共関与の取組、市民レベルの施設、国関与のプロジェクト施設、大学の研究を抽出して紹介しています。

また、資源エネルギー庁では、体験できるエネルギー施設を「次世代エネルギーパーク」として認定する

制度を運営しており、本書はこれを参考にさせていただいています。

(経済産業省資源エネルギー庁のサイト:

http://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saiene/data.html#nav-panf-detail

本書と一部掲載施設が重複しています。)

本書の見かた

P5~12まで各施設を下の例のように紹介していますが、その見かたは以下のとおりです。P3~4の県内地図の番号と連動しています。

◎エネルギー種別のマーク

再生可能エネルギーの種類(又はエネルギーマネジメント)ごとにマークをつけています。県内地図(P3~4)に記載のマークと個票(P5~12)のマークは共通となっています。(知りたい再生可能エネルギーはこのマークをもとに探してみてください。)

	太陽光発電及び太陽熱利用。太陽光発電は、太陽の光エネルギーを半導体が吸収して、電気をつくる。		地熱発電。地中深くから得られた水蒸気を取り出し、蒸気でタービンを回し電気をつくる。
	バイオマス発電及び燃料製造施設。バイオマス発電は、木などの燃焼による熱で発生させた蒸気でタービンを回し電気をつくる。		地域エネルギーマネジメント。地域内で電気をつくり、貯める、融通するなど、効率的に使うためシステム化したもの。
	水力発電。水の高低差により水車を回転させ、その回転を発電機でエネルギーに換えて電気をつくる。		風力発電。風之力で風車を回転させ、その回転を発電機でエネルギーに換えて電気をつくる。
	雪氷熱利用。冬の間に降った雪や、冷たい外気を使って凍らせた氷を保管し、冷熱が必要となる時に利用する。		潮流発電。潮の流れの力で水車を回転させ、その回転を発電機でエネルギーに換えて電気をつくる。

◎名称

番号は、県内地図と個票とが連動しています。エネルギー種別ごとに背景色を統一しています。施設の名称は、公称を示しています。

例

26 シリウス



家庭や給食センターから出る生ごみを利用する「白石市生ごみ資源化事業所(愛称:シリウス)」です。生ごみから発生するバイオガス

◎写真・図

施設の代表的な写真や図を掲載しています。

◎説明文

施設の概要や特徴を示しています。

◎復興マーク

東日本大震災後に完成した施設には

復興マークを付けています。

◎表(上部)

所在地:施設の所在地です。

アクセス:公共交通機関の主要地点からの移動時間を示しています。

エネ種:関係するエネルギー種を示しています。また、マークで表示できない詳細を記載しています。

◎表(下部)

規模:箇所数や定格出力数を示しています。

運営主体:施設を運営する主体を示しています。

視察可否:施設の視察又は説明対応の可否を示しています。△の場合は別途お問合せ下さい。

連絡先:視察等を行う場合の連絡先を示しています。

周辺観光:施設周辺の主要な観光地や産物などを記載しています。

で発電するとともに、発電時の排気の熱を利用して温水をつくり、隣接する温室で苺や野菜を栽培しています。

所在地	白石市福岡長袋字天王6-25
アクセス	東北道白石ICから車で10分
エネ種	バイオマス
規模	最大出力 30kW
運営主体	白石市生活環境課
視察可否	視察○・説明対応×
連絡先	TEL0224-22-1314
周辺観光	白石城、温麺(うーめん)、小原温泉